



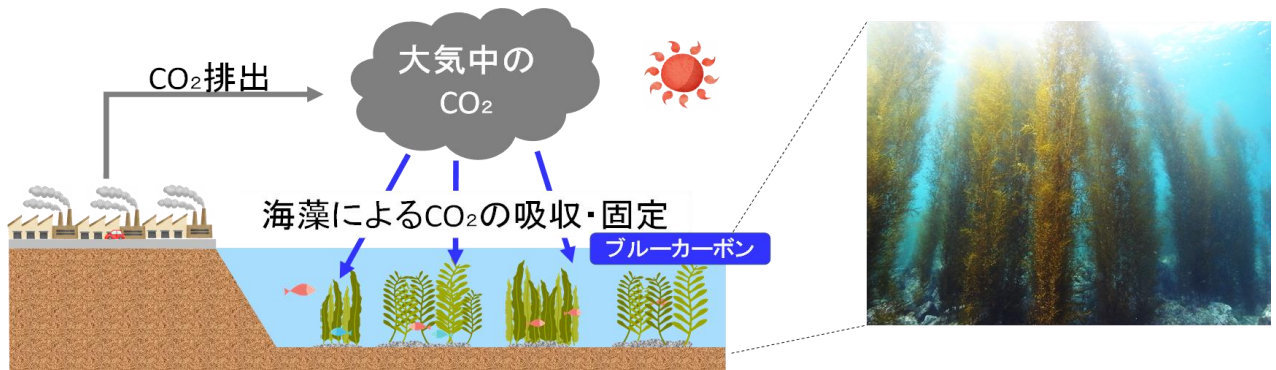
ブルーカーボンを創出し、サステナブル社会を実現！

～九州初！ 県の呼びかけでブルーカーボン推進協議会を設立～

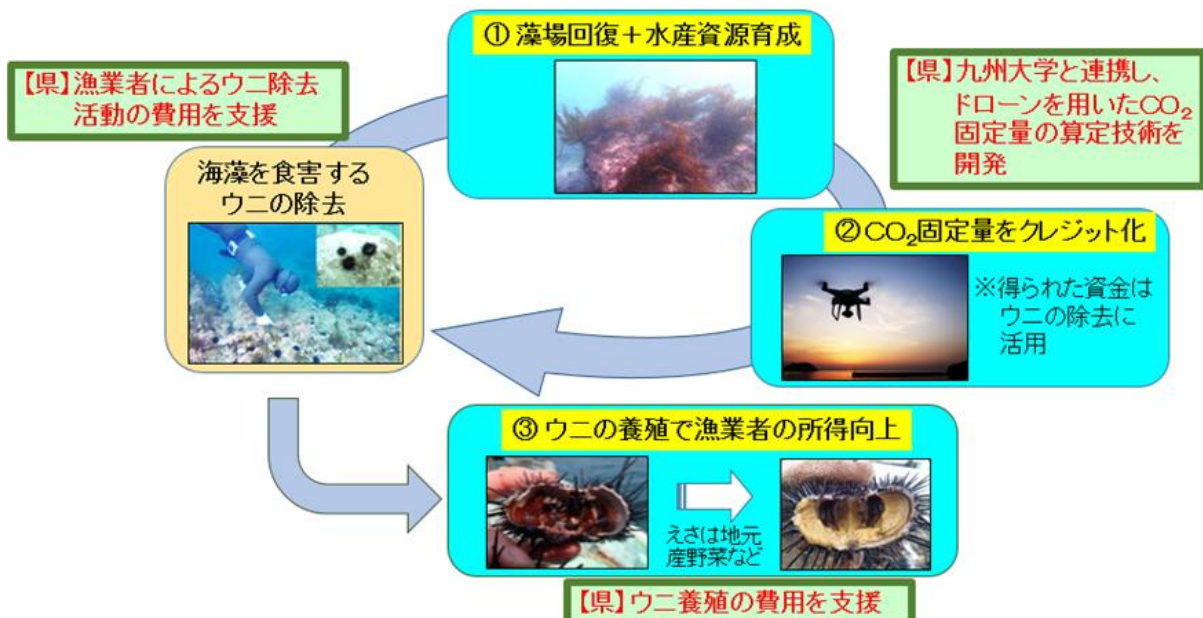
- 筑前海沿岸において、脱炭素社会の実現に向けて大きな役割が期待される「ブルーカーボン創出」の取組をスタートします。
- この取組は、まず、藻場のウニを除去することで「藻場の回復」が進み、増えた海藻に固定される「ブルーカーボンのクレジット化」により資金を得て、さらなるウニの除去等に活用します。除去した「ウニは養殖し商品化」します。
- 県は、ウニの除去やウニの養殖に要する費用を支援し、九州大学と連携してドローンを用いたCO₂固定量の算定技術の開発に取り組みます。
- 今回、九州で初めて、産・学・官が連携した「福岡県ブルーカーボン推進協議会」を県の呼びかけで設立します。キックオフミーティングとなる第1回協議会は4月26日に開催します。

1. ブルーカーボンとは

海藻等の沿岸・海洋生態系に吸収・固定される炭素



2. ブルーカーボンの創出で「1石3鳥」



3. 第1回福岡県ブルーカーボン推進協議会の開催

(1) 日時

令和6年4月26日（金） 14時00分から15時30分まで
（受付13時30分から）

(2) 場所

福岡県水産会館5階 大研修室（福岡市中央区舞鶴2丁目4番19号）

(3) 内容

- ・主催者（県水産局長）あいさつ
- ・協議会会長あいさつ
- ・基調講演
「ブルーカーボンについて」（九州大学）
- ・事例紹介
「漁業者による藻場の保全活動とウニ養殖技術開発について」
（福岡県水産海洋技術センター）
「遠賀漁協と水産高校生によるウニ養殖と試験販売について」
（遠賀漁業協同組合）
「『町いちばんの会社』を目指したブルーカーボンの取り組み」
（トヨタ自動車九州株式会社）

※協議会の構成員

福岡県：農林水産部水産局、県土整備部港湾課、環境部環境保全課、
福岡県立水産高等学校
市町：筑前海沿海市町 全8市町（糸島市、福岡市、新宮町、宗像市、
福津市、岡垣町、芦屋町、北九州市）
漁業関係団体：福岡県漁業協同組合連合会
筑前海の漁業協同組合 全7漁協（糸島、福岡市、新宮相島、宗像、
遠賀、ひびき灘、北九州市）
大学：九州大学
農業関係団体：JA 全農ふくれん
地元企業など：トヨタ自動車九州（株）、（株）高田工業所、（一社）ふくおかFUN

【取材について】

13時30分から受付を行いますので、希望者は開始予定時刻までに受付を済ませた上で、係員の指示に従い会場に入場してください。